

豪雨・洪水災害に対する社会資本 の防災を考えるフォーラム

～平成28年8月十勝地域の豪雨を踏まえて～

入場無料
要事前申し込み

日時：平成29年10月17日(火) 14:00～17:00
場所：とかち館 2階「鳳凰の間」

開会挨拶

寒地土木研究所長 **鎌田 照章**

基調講演

『平成28年8月豪雨による農業用排水路の被害状況と今後の対策』

帯広畜産大学環境農学研究部門
農業環境工学分野 教授 **辻 修 氏**

講演

『帯広開発建設部管内の土木関係施設の防災対策』

帯広開発建設部 次長 **井田 泰 蔵**

『豪雨災害後の河川一次調査と復旧に向けた課題』

日本技術士会北海道本部道東技術士委員会 代表
株式会社紅葉流域設計 代表取締役 **紅葉 克也 氏**

『地形地質からみた日高山脈北部の斜面災害』

寒地土木研究所 防災地質チーム 上席研究員 **倉橋 稔 幸**

閉会挨拶

帯広開発建設部長 **河畑 俊 明**



＝主 催＝

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所

＝共 催＝

公益社団法人日本技術士会北海道本部道東技術士委員会

＝後 援＝

一般社団法人帯広建設業協会
十勝測量設計協会



JSCE17
-0845
2.8単位

本フォーラムは、(公社)土木学会の
継続教育(CPD)プログラムとして認定
されており、建設系CPDプログラム検
索サイトに掲載されています。

平成28年に相次いで北海道に上陸した台風は、北海道東部に甚大な被害をもたらし、河川はん濫による市街地や農地の浸水、道路、鉄道の寸断など社会機能を著しく低下させました。現在も復旧事業が進行中であり、社会資本や地域産業の早急な回復が期待されます。一方、豪雨・洪水災害に備えた防災対策は、社会資本、住民生活の安全を確保し国土保全を図るうえで重要な役割を担い、長い年月をかけて着実に整備が進められてきましたが、これらの防災対策がどのように機能し被害を軽減できたのか、また今後の防災機能はどうあるべきかなど、災害を通じて得た防災対策の実情を知ることが重要です。

本フォーラムでは、昨年、十勝地域に発生した豪雨・洪水災害の被害状況を踏まえ、これまでに整備された社会資本の防災対策や将来に向けた方策等について紹介します。

基調講演

『平成28年8月豪雨による農業用排水路の被害状況と今後の対策』

プロフィール



帯広畜産大学 環境農学研究部門
農業環境工学分野 教授

つじ おさむ
辻 修

香川県生まれ
帯広畜産大学大学院卒業
帯広市役所農務部を経て、2009年より現職
博士（農学）

申込用紙

お申し込み方法

下記の必須事項をご記入の上、下記のE-mailアドレス又はFAX番号までお送りください。

締め切り

平成29年10月6日(金曜日)

お申し込み先

※ 定員200名になり次第、申込みを締め切らせていただく場合がありますのでご了承願います。

企業・団体・ 機関等の名称					
連絡先	ご担当者様の電話番号： — —				
参加者	所 属	役 職	ふりがな ご 氏 名	受講証明 ^{※1} 希望の有無	交 流 会 ^{※2} (参加費3,500円)
				有 ・ 無	ご出席・ご欠席
				有 ・ 無	ご出席・ご欠席
				有 ・ 無	ご出席・ご欠席

※1 このフォーラムは、土木学会継続教育(CPD)プログラム認定されています。受講証明の希望の有無を記載願います。

なお、受講証明発行の際には本人確認を行いますので、写真入り身分証明書(運転免許証、監理技術者証など)をご持参願います。

※2 フォーラム終了後、17:30~19:00 とかち館 2階「金枝の間」において交流会を開催しますので、参加を希望される方は事前にお申し込みをお願いします。また、申し込み後、都合によりキャンセルされる場合は、開催日の2日前までに下記までお知らせ下さいませますようお願いいたします。なお、参加費お一人様3,500円は、当日会場にて申し受けます。

【個人情報の取り扱いについて】

お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、フォーラム及び交流会を円滑に行うためのものであり、それ以外の目的での使用、または第三者への提供はいたしません。

お問い合わせ先

国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 道東支所 TEL.0154-25-6777 (担当：吉澤、大山)